２０２０年１月

国土交通大臣　赤羽　一嘉　殿

羽田空港増便計画による航空機の中野区上空での
低空飛行ルート計画を強行せず中止・再検討を求める要請書

要請団体：羽田新飛行ルートの中止を求める中野の会
共同代表　湖東　京至（元静岡大学教授・税理士）
晴山　一穂（専修大学名誉教授）
連絡先　湖東　京至　税理士事務所
中野区中野４－５－１－５０１
電話　０３－３３８５－０１２４

要請趣旨

昨年８月８日、当時の石井啓一国土交通大臣は、「丁寧に対応していくことを前提に、地元への理解が得られたと判断した」と大型旅客機の都心低空飛行ルート計画の正式決定を発表しました。しかし、地元の理解が本当に得られたと言えるでしょうか。

計画による中野区上空低空飛行ルート３本は、いずれも羽田空港に向かう着陸ルートとされております。当ルート３本はいずれも、航空機機体事故・部品落下事故の多い時間帯として航空業界で呼ぶ「着陸前魔の８分間」に中野区上空が含まれています。

機体に氷結した氷は自然現象ですから落下を避けることができません。部品落下事故は、安全策を強化してもゼロにすることはできません。現実に部品落下事故報告は年々増えています。

大田区、川崎市では、住民の安全を図るため国土交通省が住民らと交わした内容を一方的に破棄する暴挙になっています。

羽田空港増便による日本の経済発展と人命とを天秤にかけるような政策については、私たちは到底納得できるものではありません。

よって、計画を中止することを要請します。

| 氏　　名 | 住　　所 |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |